

スリランカ産コーヒーで熊本復興に貢献！

～熊本地震による店舗倒壊に負けず、海外ビジネスに挑戦～

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社ナチュラルコーヒー(熊本県熊本市、清田史和代表取締役社長)が提案する「農村生産者コミュニティのコーヒー分散型生産・集約管理システムの導入基礎調査」(スリランカ国)を採択しました。

スリランカはセイロン紅茶で有名ですが、高品質となるアラビカ種の栽培に適した環境でもあります。近年の経済発展に伴い、都市部と農村地域と格差の拡大が問題となっており、スリランカ政府は、農村部での新たな産業の創出・拡大に取り組んでいます。

提案企業は約10年にわたりフェアトレード事業としてスリランカでのコーヒー豆栽培に取り組んできました。今回の調査ではこれらの経験を活かし、より高品質なコーヒー豆のバリューチェーンの構築を通じ、コーヒー農家の所得向上と農村女性の活躍を目指すとともに、現地でのビジネス展開の可能性を調査します。



(左)熊本市で展開する
仮店舗の様子



(右)焙煎機

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業連携事業～基礎調査～」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度は本年2月に第1回目の公示を行い、41件の応募のうち12件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査 2016年度第1回公示の採択結果について

URL: <http://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA九州国際センター 担当:小西 TEL 093-671-8204

JICA国内事業部中小企業支援調査課 高林(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-3243 e-mail: pdtfs@jica.go.jp